2.26第10回寄席研報告

第10回寄席研報告

大雨を避けて集合写真は隣の「庄屋」で
参加者　荒木・伊藤(順)・国友・栗原・野村・伊藤(徹) 6名

第10回目の寄席研究会は2月26日(木)恒例の新宿末広亭で2月下席昼の部観賞会を開催しました。
当日は前日までの天候とうって変わり生憎の雨で、気温も下がり会員の参加はコアメンバーのみ6名というチョッピリ寂しい観賞会でした。
ただ寄席全体では雨天にもかかわらず、1階席はほぼ満員という状況でした。平日昼ですのでほぼ私達と同じ年齢層です。

私は月の家円鏡を見たかったので1時半に入場しました。
私事で恐縮ですが、お互いの息子が中学・高校で同級だった縁で、女房達は年何回か会っておるようですが、彼の噺を聴くのは15年程前の円鏡襲名興行以来でした。今でも先代円鏡(現橘家円蔵)のイメージが強すぎてやりずらいとの事でしたが。今回の演目は「代書屋」で、私の好きな柳家権太楼のそれとは一味違った面白いものでした。

その後の金原亭馬の助の、頭巾と羽織だけで七福神等を真似る百面相は最近演じる噺家がほとんどいなくなり、貴重な存在になっているようです。
お中入り後に期待していたのは柳家喜多八の落語でした。出だしはけだるい雰囲気で始まり、途中からお客を引き付けていくのが彼の持ち味なのですが、
今回は体調のせいか盛り上がらないままに終ったのは残念でした。

昼の部主任(とり)は6代目柳家小さんでした。
落語家唯一の人間国宝先代小さんの息子で、今売り出し中の花緑は甥っ子です。演目はご隠居さん同士の碁の待ったでの諍い「笠碁」で、30分以上の熱演でした。

昼の部終了後、所用で帰られた国友さんを除く5名で、これも恒例の焼き鳥屋・庄助で打上げ会を行いました。
皆さんのお話では、落語はもちろん聴き応えがあったが、ロケット団とホームランの漫才がなかなか面白くて良かったという事でした。
(文・伊藤(徹) 写真・荒木)

本日の演目

昼の部(12:00～16:30)

12時		
落語	交互出演	
	柳家緑太・柳家花ごめ	
漫才	ニックス	
落語	柳亭左龍	
落語	橘家蔵之助	
神楽	翁家勝丸	
13時		
落語	林家うん平	
落語	桂ひな太郎	
奇術	アサダ二世	
落語	月の家円鏡	

14時		
落語	金原亭馬の助	
漫才	ロケット団	
落語	桂南喬	
	お仲入り	
15時		
落語	柳家三語楼	
漫談	ペペ桜井	
落語	柳家喜多八	
落語	柳家小団治	
16時		
漫才	ホームラン	
昼主任	柳家小さん	

次回は6月頃の開催を予定していますが、寄席研も発足以来3年近くいささかマンネリ化しております。皆様のアイデアをお待ちしています。